令和 4年度新羽地区社会福祉協議会事業報告

事業名	事業結果報告
会報発行	1. 「ふくしの和」第38号(令和5年1月1日)4,000部を発行し、町内会員全戸に配布。読みやすいように紙面をカラー化に変更した。印刷単価が高くなるため、各町会への適正数を聞き印刷部数の見直しをして、前年比△500部にて発注したが、さらに部数の適正数を見極める余地がある。町内の活動に関する写真を多く掲載し、見やすく親しみやすい紙面作りを心掛けた。賛助会費の使い道で小学校へのパーテーション寄贈の記事も掲載した。 2. 社協ニュース 今年度もコロナ禍で活動団体も縮小ぎみのため、紙面で紹介できる記事に乏しく、年3回発行予定のところ2回の発行。賛助会員や各種募金のご協力者に、地区社協の活動内容を知ってもらえるよう工夫した。
研修•施設見学	令和4年11月12日、各町内会・自治会4名までの参加者制限を設けケアプラザにて研修を実施。24名の参加者があった。テーマは「ヤングケアラーへの理解を深めよう」。講師は横浜ヤングケアラーヘルプネット共同代表木下こゆるさんと弁護士藤木和子さんで、お二人とも家族内の介護で辛かった過去をお持ちで、当事者目線で地域のヤングケアラーの探し方やどう見守ればいいのかのヒントを講和いただいた。 事後のアンケートより一部抜粋 ・近年ヤングケアラーという言葉を耳にしますが、具体的にケアラーの範囲(障害者や病気以外にもある)が分かりました。 ・ヤングケアラーは「見つけようとしないと見つからない」という話しは本当にそう思う。また、見つけても声掛けの言葉やタイミングが難しいと思う。 ・「がんばってね」という言葉はその子へのいい言葉でないとわかると、どう声掛けするか難しいと感じた。もうすでに頑張っているので、いたわりにはならない。・家族間のお手伝いが段々重くなり、頼りにされているがあたりまえ、学業や生活に無理がでても家族なのでマヒすることへの切なさ。子どものSOSに気付ける社会にならないといけないと感じた。
児童福祉	・新羽小学校および新田小学校の新入学児童全員に、交通安全を願った黄色い帽子を贈呈。新羽小 81個・新田小 11個。入学説明会にて児童保護者に手渡した。 ・新羽小学校に、パーテーションを2台購入し、寄贈。パーテーションは特別支援級にて使われるもので、着席した児童を周囲から囲み、落ち着いて勉強ができるようにするもの。材質はマグネットが貼り付く素材。プリントや時間表を目の前に貼りつけることで次の行動や勉強にとても役に立っていると小学校の教諭から感謝の言葉をいただいた。金額59,840円。
在宅援護	民生委員・児童委員に協力していただき、高齢者世帯・ひとり親世帯等 気がかりな世帯へ慰問品を持って訪問し、近況の確認を行った。 慰問品は台所洗剤2本・ハンドソープ1本・40Lゴミ袋をセットにし、41世帯へ配られた。 前年度は47世帯のため世帯数は減少となった。

団体名	申請金金額	承認金額	決算額
新羽地区保健活動推進委員会	62, 000	62, 000	59, 400
新羽町連合町内会防犯部	20, 000	20, 000	20, 000
民生委員児童委員連絡協議会	157, 500	157, 500	157, 500
保護司会	25, 000	25, 000	25, 000
健康づくり部会 対象行事: 大竹うたの会	5, 000	5, 000	5, 000
住民交流部会 対象行事: ふれあい写真展	8, 000	8, 000	8, 000
住民交流部会 対象行事: 緑道公園みちあそび	20, 000	20, 000	20, 000

申請内容と効果について

事業名

助成活動

①新羽地区保健活動推進委員会

事

業

今年度助成金申請のあったものは次の通りである。

結

果

報

告

「足指力測定器」1台の購入費として申請。健康測定会で使用する機器だが、これだけが新羽になく行事のたびに区役所保健課に借りに行っている。使用頻度も高く手間と交通費もかかるので、購入したい。

10月~12月に3つの町内会館で行われた「お出かけ健康チェック」や、10月29日ケアプラザで催された「自分の身体を知ろう」イベントにて利用し、町民の健康チェックに役立っている。

今後も各町内会館を利用した健康チェックイベントを予定しているので、大事に使っていきたい。

②新羽町連合町内会防犯部

年1回発行の文集「若い芽」の発行費の一部として申請。

新羽小学校・新田小学校・新羽中学校より作文を集め、入選者へ表彰状および 賞品を授与した。子ども達には作文を書くにあたって、防犯について考えるきっ かけ作りとなり、また出来上った文集を回覧板などにて町民に読んでいただくこ とで町の防犯意識の向上につながっている。

③民生委員児童委員連絡協議会および保護司会

市民児協・区民児協会費および区保護司会会費に充当する目的で申請。 個人負担なく会費を納めることができた。

④ひっとプラン健康づくり部会!

音楽セラピストの先生を招いて大竹会館にて年2回開催の「大竹うたの会」イベント。5月開催分の講師代の助成を申請。

ただ歌を歌うだけではなく、歌を使った脳活(イントロから曲を考えるや、歌の流行った時代の回想など)で、心身ともに元気になろうという内容に、参加者に元気になっていただいた。10月も開催したが、助成は5月分のみ。

= # 2	
事業名 	事 業 結 果 報 告
事業名 助成活動 つづき	⑤ひっとプラン住民交流部会 ●11月26日と27日に新羽地域ケアプラザで開かれる「にっぱらっぱフェスティバル」にて、住民交流部会で数回催した写真撮影会の写真を展示する「ふれあい写真展」を開催したいので助成金を申請。 コンテスト出品数15点(撮影者9名)で、にっぱらっぱフェスティバル来場者117人の投票があり、最優秀賞1点・優秀賞1点・入選4点が選ばれた。撮影場所は、大塚歳勝土遺跡公園(センター北)が主で一部新羽地域内。 ●新羽町自治会と共同で、3月12日に改修工事中の新田緑道にて、子ども向けに「新田緑道みちあそび」イベントを開催する。小学校にて配布のチラシや回覧板等へのチラシの印刷費・お絵かき用チョークや昔あそび用品代として申請。緑道の工事で撤去される構築物や壁・地面などを1日限り解放し、お絵かき・昔遊びなどをした。参加者は約250人。幼児から小・中学生・乳児の親子など、家族連れでの参加者もあり、それぞれの種目に年配者をスタッフとしたので異世代交流にもなった。工事事業者が手配してくれた重機に乗ったり、倒した樹木で作った橋渡りは大変好評であった。昔遊びも8種類用意し、繰り返し遊ぶ子
	を多く、参加者からは「良いイベントだった」との反響があった。 ⑥令和3度助成のスポーツ推進委員からの報告の紹介 新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会では、新羽地区社会福祉協議会の助成金で室内ペタンクとボッチャ用具を調達しました。 新羽地区スポーツ推進委員は、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて東京パラリンピックで注目されたボッチャを体験していただくために、11月27日に開催された「にっぱらっぱフェスティバル」にて「ボッチャで勝負!」(ボッチャの体験会)を実施しました。その場で初めて出会った、子どもからご高齢の方・障害をお持ちの方6人が一緒にプレイしました。どんな人もハンデを感じることなく楽しく和気あいあいあいと、プレイできました。「室内なので広さもちょうどよい」「またやりたい」という声も笑顔と一緒にたくさんありました。ボッチャ、室内ペタンク用具は貸し出しますので、各町内会・自治会のスポーツ推進委員にお声かけください。
	【その他助成活動】 新羽町連合町内会との協力 ・合同敬老の集いが開かれないので、昨年同様、各町内会・自治会ごとの敬老イベントに対し3万円ずつ(8町会24万円)の助成を行った。 新規助成団体への助成 ・コロナ禍の余波でまだ活発に活動ができず、新規団体の助成には至らなかった。

事業名事業結果報告

賛助会員の 募集

前年比19口増の計画を立て、町内会・自治会ごとに取り組んでいただいた結果、5件5口の新規会員増となった。結果は下の通りとなった。

町会加入者の減少や転出、事業所の減少などで口数の増加は難しい中、町内会・自治会のみなさまに取り組んで頂き、感謝申し上げます。

賛助会費 町内会別実績

町 会 名	今年度 新規増加 件数	賛助会費□数	賛助会費金額	前年比増減額
南町内会	2件	152	304,000円	+7,000円
中之久保町内会	1件	103	206,000円	-6,000円
大竹町内会		51	102,000円	-12,000円
中央町内会		113.5	227,000円	4,000円
新羽町自治会		82	164,000円	-24,000円
新羽町町内会		59	118,000円	-10,000円
北新羽町内会	2件	158	316,000円	8,000円
クリオ新横浜北自治会		25	50,000円	0円
合 計	5件	743.5	1,487,000円	-33,000 円

賛助会費は 一口2千円にてお願いをしている。 新規増加は5件だが、転居・退会等により前年度より口数が減ったため、 前年比増減金額は△33,000円となった。

単位:円

町 会 名	募 金 額
南 町 内 会	290, 600
中之久保町内会	96, 000
大 竹 町 内 会	68, 705
中 央 町 内 会	215, 000
新 羽 町 自 治 会	152, 000
新 羽 町 町 内 会	237, 000
北新羽町内会	215, 000
クリオ新横浜北自治会	60, 600
募金総合計	1, 334, 905

年末たすけ あい運動

年末たすけあい募金町内会別募金額

前年度募金額 1,422,900 円と比較すると△87,995 円となった。

• 配分内容

在宅援護配分は48世帯74人に 314,000円

社会福祉施設等への活動補助金として2施設へ 30,000円

社会福祉団体への活動補助金として2団体へ 182,500円

残額は港北区社会福祉協議会へ送り、港北区の障害者団体やその活動の助けとなった。また新羽地区の活動助成金としての配分もあった。 金額の結果報告は各町内会の回覧板にて回覧した。

事業名	事業結果報告
自主事業	9月の認知症を考える月間にあわせた新羽地域ケアプラザ主催
	【オレンジの輪プロジェクト2022~誰もが安心して暮らせる町 新羽】のスロ
	ーガンのもと、認知症への理解を深めるきっかけ作りとして、新羽町内をテーマカ
	ラーの オレンジで彩るため マリーゴールドの花苗を民生委員児童委員連絡協議
	会と協力して購入。花の里づくりの会からの寄附分と合わせて配布した。
	昨年度 10,000 円 本年度 22,000 円
	・総会 理事および評議員には書面による議案決議を提出していただき、常務理事 会において、その場の参加者の賛否を加えたもので議決した。
	去にあいて、その場の参加者の真古を加えたもので議次した。 書面による質問や意見には常務理事会で話し合いを設け、回答をした。
	音曲による負向で思兄には市物理争去で前し合いで設け、凹合をした。
	・常務理事会を毎月行われる連長会のあとに開催した。また、事務局会議を月1回
	以上集まり、常務理事会の議題の作成等の話し合いを行った。
総会・会議	・常務理事会での議事録を、各町内会・自治会の理事へお配りし、会議内容の周知
	を図った。
	・区社協主催の定期会議や、会長会への参加。
	• 区社協主催の研修「豊かに地域に住み続けるためのICT〜あなたならどう活か
	しますか?~」に参加。